
「日本の美意識が体感できる時空間」の拡充を目指して
アーティスト・イン・ホテル プロジェクト 再始動
制作アーティストの一般公募もスタート

パークホテル東京（運営：株式会社芝パークホテル 東京都港区、代表取締役社長 柳瀬連太郎）では、「アーティスト・イン・ホテル プロジェクト」を 2020 年 4 月より再始動いたします。



近藤亜紀「アーティストルーム クイーン おたふく」（2015 年 5 月完成）

パークホテル東京は「より多くのゲストに日本の美意識・文化を体感してほしい」という想いを込めて、「アーティスト・イン・ホテル プロジェクト」を再始動いたします。

2020 年 4 月に始まる「茶室」をテーマとした客室の制作を皮切りに、「だるま」「着物」「鉄道」などのテーマを設けて制作アーティストの一般公募も行い、34 階 1 フロア、合計 31 室のアーティストルーム制作を実施いたします。

「アーティスト・イン・ホテル」とアーティスト募集の詳細はこちら

<https://parkhoteltokyo.com/ja/art-at-park-hotel-tokyo/artist-in-hotel/>

2012 年にスタートした「アーティスト・イン・ホテル プロジェクト」は、アーティスト・イン・レジデンスのパークホテル東京版です。日本人のアーティスト達が実際にホテルに滞在し、ホテルのコンセプト「日本の美意識が体感できる時空間」のもと、そこで生まれるインスピレーションによって生まれた美意識を客室の壁や天井に直接制作。世界に一つだけの独創的な客室を制作し、2017 年には 31 人の異なるアーティストにより 31 階 1 フロア、合計 31 室のアーティストルームが完成いたしました。アーティストに活躍と情報発信の場を提供したこのプロジェクトは、「先駆的で、日本の魅力を増加させている」との評価を受け、2017 年にはジャパン・ツーリズム・アワードで国内・訪日領域優秀賞を受賞いたしました。



OZ-尾頭-山口佳祐「アーティストルーム キング 歌舞伎」
(2015 年 5 月完成)



大竹寛子「アーティストルーム クイーン 桜」
(2015 年 1 月完成)

パークホテル東京が考える「日本の美意識が体感できる時空間」を表現した客室の拡充に、是非ご期待ください。

【パークホテル東京とは】

パークホテル東京は「日本の美意識が体感できる時空間」をコンセプトに、ホテルが考える ART = Atrium(空間)・Restaurant(食)・Travel(旅)のそれぞれのシーンに、日本の美意識が体感できるアートを取り入れております。自分たちの文化を理解し、誇りに思うスタッフ・アーティストが日本のおもてなしでお客様をお迎えします。美意識という心の交流を楽しみながら、都心の天空庭園でリフレッシュし、より日本を好きになっていただきたい、それがパークホテル東京の願いです。

＜本件に関するお問い合わせ＞

制作中のお部屋・アーティストへの取材につきましても、お気軽にお問い合わせください。

パークホテル東京 マーケティング部 広報：松原

Email : matsubara@shibaparkhotel.com 〒105-7227 東京都港区東新橋 1-7-1 汐留メディアタワー

TEL : 03-5470-7513 FAX : 03-5470-7515
